

◆開催方法: 全面 Web (Zoom ウェビナー) ◆受講人数: 19社39名 ※受講者の入社後平均年数: 7.41年

満足度の理由を教えてください

(良かった点)

基礎的な内容を幅広く理解できた(6) / 鍛造方法(6) / 動画(2)
鍛造初心者でも分かりやすい説明(2) / 製品強度 / 周辺技術 / 鍛造用材料
製造方法の違いや仕組み / 各種鍛造法の具体例があり、想像し易かった / プレス時の応力の加わり方
元々知っていた内容もあったが、復習の上では良かった
ポンチ絵(断面図)と動画で工程がイメージし易かった
鍛造方法の図解説明があり非常に分かり易く、大型品の動画がとても興味深かった
少数ロットの注文が多く自由鍛造ばかり発注しているので、普段関わりのない加工方法を知ることができた
黄銅鍛造と鉄系の鍛造の違いを知ることができた動画もあり、イメージし易かった黄銅鍛造の常識が通用しないことが良く分かった

(悪かった点、改善点)

基礎編としては、かなりレベルが高いと感じた(2) / 具体的な生産品目をもっと知りたかった
自社の取扱い品の実例がなかった / 金属の特性の講義があれば受けてみたい
30分前から入室していると音が聞こえなかった
自動車の話が多く、自社で扱うような材料を知りたかった
バルブの検査についてカリキュラムがあれば企画して欲しい
最初に特殊鍛造からの説明だったので、理解するのが難しかった
バルブ業界の実例を挙げてもらえると容易に理解し易かったと思う
固体潤滑剤について使用経験がない為、どういったものか分り難かった
もう少し詳細な製造方法(動画や3Dの絵など)とコストを知りたかった
盛り沢山なのはとてもありがたいが、少しペースが早かったような気がした
合金ごとの鍛造を詳しく知りたい(特にアルミニウム合金やステンレス合金)
強いて挙げるなら、もう少しコメントがあった方が良い資料が2Pほどあった
広範囲に浅く説明する内容だったため、業務に関係のない範囲の説明があった
SUS類の説明がなく、各鍛造で使用する金属や特性をもっと説明して欲しかった
講義内容をより細かく事前に知らせてもらえれば、必要・不必要の判断材料になると思う
後半につれ上級者向けとなり、理解が追い付かなかった部分があるので、より初級向けの講義があると嬉しい
聞き逃した部分や、通信環境の問題で音が聞き取りづらかった部分があったりするので、期間限定で録画データ
を見れるようになるとありがたい
テキストに書いていない部分を講師の方がさらっと説明され進んでしまい、聞き逃してしまう所がいくつかあったので、時間を長くしてゆっくり進めていただくか、テキストの記載を増やしていただけると、受講する側としてはありがたい
鉄-炭素二元系状態図において、鋳物とは異なる鍛造特有の結晶制御を知りたいと思った(初心者向けの内容ではないかもしれませんが自学自習します)
製造するにあたっての注意や欠陥の出やすい点や、対策・検査なども含めてもらうか、材料に対する検査の講習

があると助かる

特に参考になった講義内容を教えてください

鍛造方法 (7) / 動画説明 (2) / 鍛造材料 (3) / 鍛造用途 / 不具合事例
バリだし鍛造 / 自由鍛造の精度 / 型の中での材料の動き / 鍛造のビジネス成功例
型による押出の様子 of 解説 / デッドメタル部位の動画 / 分流法などを含めた鍛造理論
各鍛造手法のメリット・デメリット
動画の中で、升目を表示した鍛造シミュレーションが分かり易く、不動部分などがはっきり分かった
冷間鍛造の様式をはじめ、鍛造の種類を理解しているものもあったが、ひとつひとつが全く異なる製法であり、
大変勉強になった
押し出し製法などの説明時に、材料の動きがわかる動画資料が非常に分かり易かったので、できればテキスト
に落とし込んでもらいたい

他の方へ受講を推奨・進言する理由

基礎的な必要知識を学べるため (6) / 新人教育に良いと思った / 鍛造に関して学ぶ機会がないため
鍛造の知見を深めることは有益であるため / 普段の業務で知ることのできない内容だから
黄銅鍛造以外の鍛造技術について今後必要になると思うから
直接的な業務とはあまり関わりがないが、知っておくと役に立つこともあるから
バルブの説明資料は色々あるが、製造方法を学ぶにはこのような講習が勉強になるから
バルブメーカーとして、素材の特性や製造方法は基礎知識として学んだほうが良いと思うから
製造方法を知るということは、材質の特性を知ることに関わり、製品を作る・材料を選定することを考えるとき
に、必要な知識である為

以上